事例No.	1360
公表年度	R2
団体の属性	中核市
団体名	愛知県岡崎市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・公共施設活用 ・税財政

事例種類	立地適正化事業

事例内容・タイトル

岡崎市シビックコア地区駅前広場ペデストリアンデッキ整備事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き（令和２年７月）

立地適正化事業 ③

愛知県岡崎市（人口38．7万人） 岡崎市シビックコア地区駅前広場ペデストリアンデッキ整備事業

事業の概要

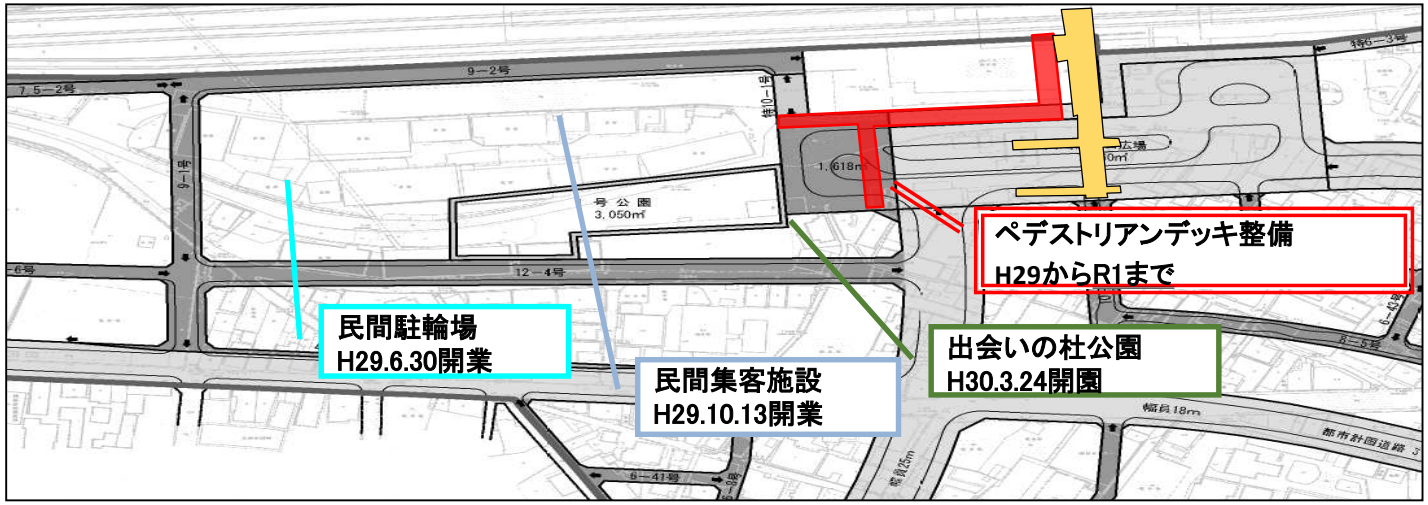
駅周辺にある市有地を活用し、民間事業者の提案を受けて新たに交流拠点の整備等を行い、岡崎駅前の魅力あるまちづくりを促進するもの。

事業のポイント

【課題】岡崎駅東地区は、交通拠点として明治・大正時代から発展してきた既成市街地だが、近年は都市機能の低下などが問題となっていた。

（個別施設計画）
岡崎市立地適正化計画

事業実施期間：H29～R2年度
総事業費12.3億円



令和元年度完成



ペデストリアンデッキ整備



民間集客施設・駐輪場出会いの杜公園

事業の効果

○ 国庫補助事業と一体となって実施する地方単独事業に対して、充当率の高い地方債を活用することで、事業を着実に実施するとともに、財政負担の平準化を図ることができるようになった。
○ ペデストリアンデッキ整備により、駅前広場及び周辺の利便性向上、駅前広場での歩行者の安全確保と渋滞対策を図る。